



一発合格者 INTERVIEW

小泉予備校 一発合格者
山下 麻樹さん

小泉テキストに載っていることだけをやれば合格できます。
反対に、それ以上は手を出さないほうがよい。

結論と理由付け、制度主旨が整理されて書かれているテキストがわかりやすい。

極 テキスト(小泉予備校の基本教材)は図が多用されていて権利関係など言葉だけではわかりにくい箇所も視覚的に理解できる。初學者にとってわかりやすいテキストです。また、結論と理由付け、制度主旨が整理されて書かれているので、復習で見返した時にもわかりやすくなっています。合格に必要な論点が網羅されているので、テキストに載っていることだけをやっておけば合格できますし、反対にそれ以上は手を出さないほうがよいということ。小泉先生の講義は、癖がなくわかりやすく、スピードも、速すぎもせず、遅すぎもせず、聞きやすいのが良いです。司法書士の受験業界で長いキャリアをお持ちなのは知っていました。インプットとアウトプットの並行学習」と「5肢択一の問題を、肢別にはばらばらにしたテキストを使って、論点別に過去問をやっていく」という学習法には特に共感しました。司法書士受験は、自分なりに割ける時間で、勉強をコツコツ続けていけば、いつか報われる時がくると思います。

本試験 「時間との戦い」

実践的練習
が必要

答練

5肢択一の中で
少ない肢だけを検討して
正確な答えをだす。

POINT

過去問論点は、他の受験生も正解して
正答率が高くなる!

肢別の論点別過去問をしっかりと
マスターしておくこと!

合格を勝ち取るためには、肢別の論点別過去問をしっかりとコツコツとやることが、何より大切だと思います。過去問論点は、他の受験生も正解して正答率が高くなるので、そこを落としていたのでは、合格はできません。また、今年の試験の場合は、個数問題が多かったのですが、問題をよく見ると過去問論点を中心だったので、過去問論点をきちんと押さえれば正解することができたと思います。通常、個数問題は正答率が下がるので、ここで得点を稼ぐことができれば、他の受験生と差をつけることもできると思います。忘れては覚えることの繰り返しだと思うのですが(笑)、過去問論点をしっかりとやっていると、合格が見えてくると思います。それと、制度主旨、理由付けをしっかりと理解しながら進めることも大切です。制度主旨と理由付けをきちんと理解していれば、もし答えを忘れても、正解を導くことができますし、派生論点など知らない問題が出題されても、答えを出しやすくなります。

私の学習法 過去問対策について



肢別の論点別過去問をしっかりとコツコツとやることが、何より大切。

すでに「合格に必要なカリキュラム」が組まれていて、
合格に必要な知識もテキストにまとめられています。

直前期は、答練をペースメーカーにして、計画的、効率的に勉強ができました。

答 練では、とても実践的な練習ができました。本試験は時間との戦いなので、5肢択一の中なるべく少ない肢だけを検討して正確な答えをださないとけないのですが、その練習を積むことができました。解説講義は、抜けている知識や最新の判例や先例の知識補充にもなりますし、また、先生が重要な箇所を言ってくれるので、その1週間にやるべきことが「かつちり」決まってきました。このため、直前期に、極答練をペースメーカーにして、計画的、効率的に勉強ができました。独学だと、どのように勉強していくかを自分で考えないといけないですが、小泉予備校であれば、すでに「合格に必要なカリキュラム」が組まれていて、「合格に必要な知識も極テキストにまとめられている」ので、与えられたものだけを、きちんとやっていくだけでよかったです。極答練では、成績上位者が公表されているので、同じ受講生の仲間が見えて、やる気につながりました。合格した時は、信じられない気持ちでしたが、いろいろなお知らせがありながらも、勉強を続けてきたのが報われたと思います。今後は、実務経験をしっかりと積んで、正確、迅速で、安心して仕事を任せてもらえる司法書士になりたいです。